

## Why Finland Now!

# フィンランドへ行くべき10の理由

### 1 2018年こそ訪れるべき国

世界中の旅行者に支持されるガイドブック『ロンリープラネット』が発表する「2017年に訪れるべき国ランキング」で3位にランクイン。その理由のひとつは、2017年12月がフィンランド独立100周年だから。しかし実際にフィンランド100周年の盛り上がりを見せるのは、どうやら2018年らしい。

### 2 空気がキレイ

世界保健機構（WHO）のデータでは、フィンランドは世界で3番目に空気がキレイな国だとされている。さらに北部のラップランド地方では、世界一空気がキレイな場所が多々観測されている。

### 3 世界で一番子育て世代に優しい国

子ども支援専門の国際組織であるセーブ・ザ・チルドレンは、母親を通して子どもについて考えるきっかけを作るため、毎年母の日にあわせて「母親指標…お母さんに優しい国ランキング」を発表し、2017年はフィンランドが1位。ちなみに日本は先進国の中で最下位の32位である。

### 4 学力の高い教育先進国

国際学力比較調査「PIISA」（主に15歳の子供たちを対象とした学習到達度調査）で、常に好成績を残している。子供たちへの教育は国の財産だと考えるフィンランドでは、国の教育政策として子供たちを手厚く保護。日本という小・中・高、大学または専門学校までの授業料は全て無料。家庭の経済力に関わらず、平等で良質な教育が受けられる。一方、近年の日本では経済格差⇨教育格差になりがちだと他の先進国から心配されている。

## 5 世界で最も平和

平和基金会 (The Fund For Peace) が毎年発表する “世界で最も脆弱な国家ランキング (The Fragile States Index)” でフィンランドは178カ国中、178位で最下位。要するに世界で一番安定した平和な国だということ。

## 6 幸福度が高い

国連の定めた世界幸福デーに発表される、世界幸福度報告書による “世界で最も幸せな国ランキング” では毎年上位にランキングされ、2017年はフィンランドが5位。日本は51位でG7では最下位。日本がベスト10にランクインされるヒントが、何かフィンランドにあるかもしれない！

## 7 世界で一番安全

寒い冬でも、ベビーカーに赤ちゃんを寝かせたまま、カフェやレストランで食事をするのが日常。寒いと赤ちゃんが熟睡するからだという説もあるが、そもそも治安が良くなければできない習慣。

## 8 世界有数のコーヒー消費国

古くから Kahvitauko (カハヴィタウコ) というコーヒーブレイクの習慣があり、雇用者は労働者に対してこれを保障するよう法で定められている。そんなフィンランドのコーヒーの約9割は、フィルターで入れるドリップ方式で、豆の焙煎は浅煎りが主流。近年、コーヒーの健康効果が話題となり、寒い冬を乗り切るために、冬はコーヒーにシナモンやカルダモンといったスパイスを入れることもある。ここ数年はワイルドフード・ブームから、日本では漢方で使用される霊芝やチャーガ (白樺の木に自生するキノコ) をブレンドしたコーヒーも人気。

## 9 男女平等

世界経済フォーラム (WEF) が毎年発表する “世界男女格差指数ランキング” では常に上位。2017年は3位。日本は毎年下位をさまよひ、2017年は114位でG7では最下位。

## 10 報道の自由度が高い

国境なき記者団が毎年発表する “世界報道自由度ランキング (World Press Freedom Index)” によると2017年は3位で、やはり上位は北欧が占め、日本は72位でG7では最下位。